



第18期事業活動のご報告 平成20年4月1日～平成21年3月31日

### 基本方針

- 高品質なコンテンツへのこだわり
- コミュニケーション機会の創造
- ユーザー本位のサービス徹底

### 事業展開

中核であるモバイル事業の強化と  
周辺領域をさらに拡充する。

### 目標

#### 情報サイト

新規サイトの  
企画制作・配信

#### メーカー 公式サイト

既存サイトの  
充実と拡大

#### コンテンツ

自社モバイルコンテンツ  
の多面的な展開

## ニッチ市場の特定ファンを対象 「より深く」、「より面白く」、「より コミュニケーションメディアを提 さらなる収益力の強化を図って

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第18期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)事業活動のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

さて、当社は平成12年よりモバイルコンテンツの開発・サービス運営を行っており、携帯電話やインターネットの目覚ましい普及を追い風に順調に成長してまいりました。当期におきましては、創業以来経験とノウハウを積み重ねてきたモバイル事業に経営資源を集中させ、同時に大幅なコスト削減を実行することにより、業績回復に向けて事業を推進いたしました。この結果、黒字転換を果たし安定収益化が

に、  
「使える」  
「供することで、  
いきます。」



代表取締役社長  
坂入 万弘

進行するとともに、「継続企業の前提に関する重要な疑義」も併せて解消されました。

今後は、さらなる収益力の強化に向け、当社の強みである携帯コンテンツの技術力を活かし、経営理念である「新たなエンターテインメント・コミュニティの創造」のもとに、趣味性に富んだエンターテインメントコンテンツを媒介とした、新たなコミュニケーションの場、機会を提供することを目指しております。

携帯電話市場におきましては、各キャリア(携帯電話会社)がデータ通信の高速化と様々な料金体系やサービスの提供によりユーザーの取り込みを進めており、コンテンツ事業者及びサイト数も多種多様を極め、今後ますますユーザー獲得は激化が予想されます。また、消費者の価値観の多様

化は進み、ファン、マニア、オタク、サブカルチャーといった特定ジャンルのニッチ市場が生まれ、情報通信の活発化により、そのマーケットはさらに拡大しております。

このような状況のもと、当社がこれまで積み重ねてきた経験やノウハウ、専門性をもとに、ニッチ市場の特定ファンの方々のために、「より深く」、「より面白く」、「より使える」コミュニケーションメディアを提供していきます。

また、当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、早期に財務体質のさらなる健全化と安定化を図ることで、今後は株主の皆様への利益還元にも積極的に取り組んでいきます。

皆様におかれましては、引き続きご支援のほど、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

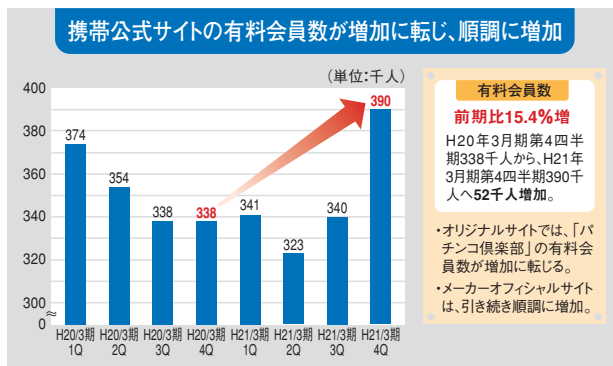
### モバイル事業

当社の主力であるモバイル事業は、パチンコ・パチスロをはじめとする特定ジャンルのファンに対し、着メロやアプリ等を配信する携帯公式サイトを運営しております。当事業が属する市場は、第3世代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の割合がさらに上昇し、大容量コンテンツの配信が加速するとともに、パケット定額制が普及し、端末の多機能化と合わせて、ユーザーの利用用途も拡大しています。

また、パチンコ業界を取り巻く環境につきましては、遊技人口の減少に加え、パチスロ新規機への入替による投資負担の増加や金融機関の融資基準の厳格化等から、パチンコ・パチスロ店舗数が、この数年減少し続けており(警察庁生活環境課調べ)、その結果、店舗間での顧客争奪戦がますます激しくなっております。

このような環境のもと、当社オリジナルのパチンコ・パチス

#### ■ 四半期毎の有料会員数の推移



ロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」では、パチンコホールがパチンコ機に経営の主軸を移行する状況を捉え、人気のパチンコアプリを投入いたしました。また、有限会社アッシュと共同で、パチンコ・パチスロ機種情報データベース「WIKIRE for パチンコ倶楽部」の提供を開始し、パチスロ機種情報を充実させた他、パチスロ機設定判別ツールの投入や、きせかえツールをはじめダウンロードコンテンツの充実、電子書籍等の新たなサービスを開始した結果、有料会員数は増加に転じました。メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時のタイムリーな情報や携帯アプリの早期配信、各種イベントの充実を行った結果、有料会員数は順調に増加いたしました。(グラフ参照)

パチンコ店舗向けASPサービス(有料店舗情報サービス)では、パチンコ・パチスロ店舗向けソリューション開発を行うブレモ株式会社との協業により、サービスラインナップの拡充、全国パチンコ店舗への営業体制の強化を行いましたところ、有料加盟店舗数は減少傾向に歯止めがかかり増加となりました。

さらに、平成20年11月に発売したニンテンドーDS用ソフト「ジャグラーDS」が、収益に寄与いたしました。

以上の結果、売上高1,247百万円、営業利益51百万円、有料会員数は約39万人(対前年比で約5万人、15.4%増加)となりました。

### 今後の課題と事業展開

当社は、引き続き中核であるモバイル事業に経営資源を集中させ、特定のコアなファン層を対象として、ユーザー本位の

サービスを追求していくとともに、モバイル技術の進化にあわせた高品質なサービスの提供を今後も目指してまいります。そのため、以下の施策を講じ、収益性の向上を図る所存であります。

- オリジナルサイトにおける新規サービスの企画制作・配信
- メーカーオフィシャルサイトの充実と拡大
- モバイルコンテンツの他メディアへの展開

さらに、当社の得意とするエンターテインメント・コミュニティ

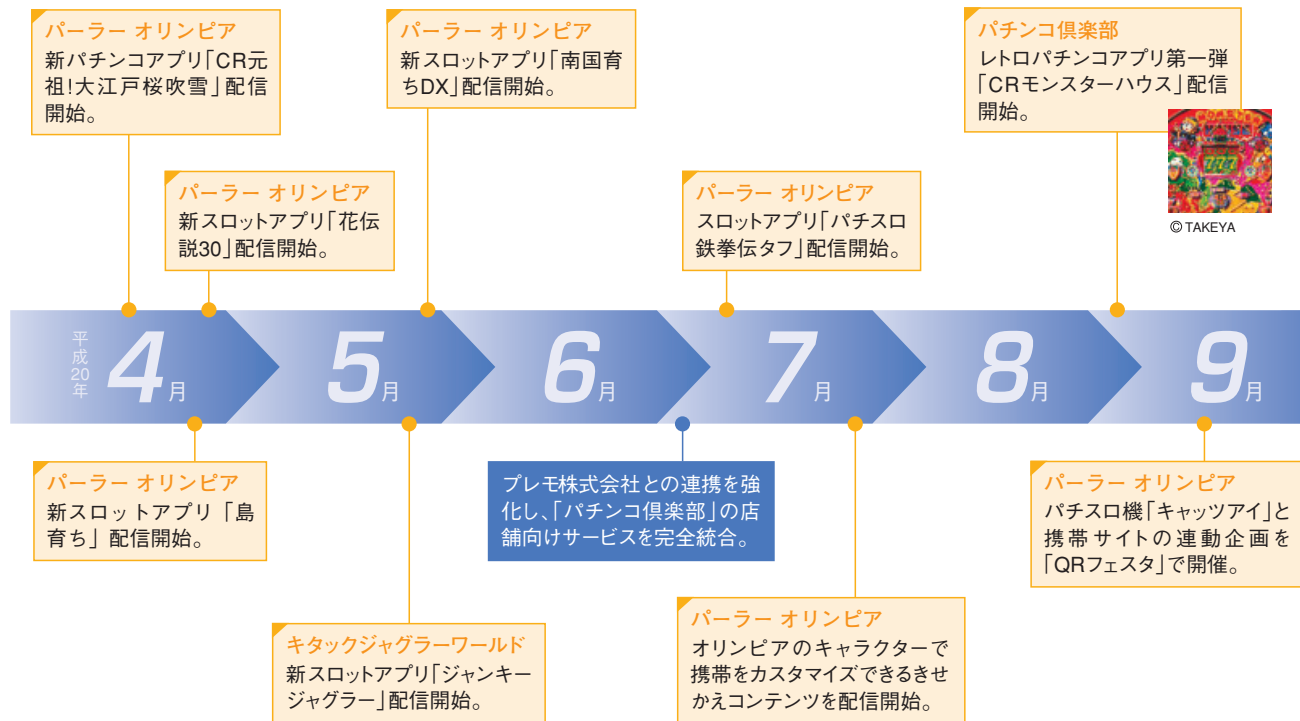
領域における事業展開の拡充を図るため、当社の保有する企画開発力を活かしつつ、資本業務提携やM&A等も視野に入れた事業展開を推進してまいります。

これらの施策により、さらに安定した成長と着実な収益を確保しつつ、中長期的には売上高経常利益率15%の達成を目標とします。なお、コンテンツの企画開発・著作権取得、資本業務提携、M&A等の業容拡大につきましては、資金の状況や予測を勘案しながら、キャッシュ・フローを重視した事業展開を行ってまいります。

## ■平成22年3月期の事業計画



※ニンテンドーDS、DSは任天堂の登録商標です。  
プレイステーション2はソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。



上期 TOPICS

## プレモ株式会社との連携を強化し、「パチンコ倶楽部」の店舗向けサービスを完全統合。

パチンコ・パチスロ店舗向けの販売促進支援サービス「P-DEPOT」に、業界初となる「時間ごとに画像をチェンジできるスケジュール機能」や「ページのテンプレート機能」を搭載するなど、当社のモバイルFlash動画技術を活かした新展開を行っております。



キタックジャグラーワールド  
スロットアプリ「豊漁」配信  
開始。

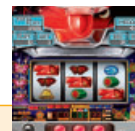


パーラー オリンピア  
新スロットアプリ「キャツ  
アイ」配信開始。

© OLYMPIA  
© 北条司/NSP 1981,  
著作権許諾証GK-304

パチンコ倶楽部  
携帯電話向け電子書籍配信  
サービス「パチ倶楽BOOKS」  
提供開始。

パーラー オリンピア  
新スロットアプリ「南国育  
ちR2」配信開始。



© OLYMPIA

10月

11月

12月

平成  
21年  
1月

2月

3月

パーラー オリンピア  
docomoユーザー向けチ  
ャネルサービス「パラオリ  
チャンネル」を開設。

ニンテンドーDS用  
ソフト「ジャグラー  
DS」発売。

パーラー オリンピア  
新ゲームアプリ「パラオリエ  
アホッケー」配信開始。

パチンコ倶楽部  
パチンコ/パチスロ機種情報デー  
タベース「WIKIRE for パチンコ倶  
楽部」提供開始。

パチンコ倶楽部  
きせかえツール/ケータイアレンジ  
コーナーで人気パチンコ機「戦国  
乙女」提供開始。

下期

TOPICS

## ニンテンドーDS用ソフト「ジャグラーDS」発売。

パチスロシェアのトップクラスを誇るジャグラーシリーズから人気のスロットゲームを忠実に再現しました。販売数は当初予想を大きく超えるなど、当社の収益に寄与しました。今後も、既存コンテンツの有効活用を図るため、ゲームソフトの企画開発も視野におき、ユーザーの満足度向上に努めてまいります。



© KITA DENSHI

※ニンテンドーDS、DSは任天堂の登録商標です。

## 個別貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)	科目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
<b>■資産の部</b>			<b>■負債の部</b>		
流動資産	733,554	941,483	流動負債	253,588	309,297
現金及び預金	366,996	590,513	買掛金	208,377	159,997
売掛金	331,670	296,204	リース債務	12,657	—
商品	—	16,549	未払金	20,828	17,434
商品及び製品	8,339	—	未払費用	1,658	13,091
貯蔵品	—	7,000	未払法人税等	1,948	1,962
原材料及び貯蔵品	3,159	—	未払消費税等	6,350	4,086
前渡金	10,368	—	預り金	1,767	2,675
前払費用	8,398	8,465	前受収益	—	1,778
関係会社立替金	—	19,025	賞与引当金	—	8,271
その他	4,640	3,743	関係会社整理損失引当金	—	100,000
貸倒引当金	△18	△17	固定負債	51,669	581,065
固定資産	123,231	219,903	新株予約権付社債	—	500,000
有形固定資産	31,206	6,993	リース債務	13,115	—
建物	8,849	8,849	退職給付引当金	15,309	16,431
工具、器具及び備品	5,713	5,919	役員退職慰労引当金	19,329	19,329
リース資産	38,271	—	その他	3,915	45,305
無形固定資産	41,655	87,277	<b>2 負債合計</b>	<b>305,257</b>	<b>890,363</b>
商標権	2,989	3,764	<b>■純資産の部</b>		
電話加入権	537	537	株主資本	551,528	271,850
ソフトウェア	5,926	8,374	資本金	663,000	663,000
商権	30,602	74,602	資本剰余金	648,500	648,500
その他	1,600	—	利益剰余金	△742,616	△1,022,294
投資その他の資産	50,369	125,631	自己株式	△17,355	△17,355
投資有価証券	52	6,409	評価・換算差額等	—	△827
関係会社株式	—	0	<b>3 純資産合計</b>	<b>551,528</b>	<b>271,023</b>
関係会社長期貸付金	—	390,000	負債純資産合計	856,785	1,161,386
差入保証金	50,317	119,222			
貸倒引当金	—	△390,000			
<b>1 資産合計</b>	<b>856,785</b>	<b>1,161,386</b>			

### 1 資産

主に現金及び預金と差入保証金の減少により、前期に比べ304百万円減少し856百万円となりました。

### 2 負債

新株予約権付社債と関係会社整理損失引当金の減少により、前期に比べ585百万円減少し305百万円となりました。

### 3 純資産

当期純利益の増加により、前期に比べ280百万円増加し、551百万円となりました。これにより、自己資本比率は23%から64%に改善されました。



## 個別損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
4 売上高	1,247,091	1,269,315
売上原価	743,762	703,643
売上総利益	503,329	565,671
販売費及び一般管理費	452,028	684,221
5 営業利益又は営業損失 (△)	51,300	△118,549
営業外収益	1,331	24,543
営業外費用	1,470	233
経常利益又は経常損失 (△)	51,161	△94,239
特別利益	236,700	5,543
特別損失	7,234	1,083,891
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	280,627	△1,172,587
法人税、住民税及び事業税	950	1,716
6 当期純利益又は当期純損失 (△)	279,677	△1,174,304

## 4 売上高

主要サービスでは、オリジナルサイトの有料会員数が増加に転じたほか、メーカー公式サイトが引き続き順調に増加したものの、前期にEコマースサイトから撤退したことなどによる売上減の影響により、売上高は前期に比べ1.8%減となる1,247百万円となりました。

## 5 営業利益

売上原価についてはメーカー公式サイトへのランニングコストが増加しましたが、販売費及び一般管理費において固定費を中心に販管費を大幅に削減した結果、営業利益は51百万円となりました。(前期は118百万円の営業損失)

## 6 当期純利益

子会社の事業整理が完了し、特別利益において同事業整理に係る引当金の戻入益の計上により、当期純利益は279百万円となりました。(前期は1,174百万円の当期純損失)

## 個別株主資本等変動計算書 当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	其他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
平成20年3月31日 残高	663,000	648,500	648,500	892	△1,023,186	△1,022,294	△17,355	271,850	△827	△827	271,023
事業年度中の変動額											
当期純利益					279,677	279,677		279,677			279,677
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)									827	827	827
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	279,677	279,677	—	279,677	827	827	280,504
平成21年3月31日 残高	663,000	648,500	648,500	892	△743,509	△742,616	△17,355	551,528	—	—	551,528

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
売上高	1,247,091	1,287,691
売上原価	743,762	745,369
売上総利益	503,329	542,321
販売費及び一般管理費	453,223	1,121,651
営業利益又は営業損失(△)	50,105	△579,329
営業外収益	1,762	20,430
営業外費用	9,358	4,708
経常利益又は経常損失(△)	42,509	△563,607
特別利益	141,282	70,501
特別損失	7,234	515,207
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	176,558	△1,008,312
法人税、住民税及び事業税	1,227	2,495
少数株主損失	—	1,322
当期純利益又は当期純損失(△)	175,330	△1,009,485

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,039	△321,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,284	△415,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,761	507,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△10,182
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△400,436	△240,122
現金及び現金同等物の期首残高	767,433	1,007,555
現金及び現金同等物の期末残高	366,996	767,433

当社は、連結子会社であった株式会社サイカゲームズ、株式会社セカンドファクトリー及びCykan Games Korea Co.,Ltd.を平成21年3月に清算結了したため、当連結会計年度末では連結子会社を有していません。このため、当連結会計年度末の連結貸借対照表は作成していません。なお、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、連結子会社3社の清算結了までの経営成績の状況を反映して作成しております。

## 連結株主資本等変動計算書 当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日 残高	663,000	648,500	△917,946	△17,355	376,198	△827	△3,784	△4,611	371,586
連結会計年度中の変動額									
当期純利益			175,330		175,330				175,330
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						827	3,784	4,611	4,611
連結会計年度中の変動額合計	—	—	175,330	—	175,330	827	3,784	4,611	179,941
平成21年3月31日 残高	663,000	648,500	△742,616	△17,355	551,528	—	—	—	551,528

## □ 会社概要 (平成21年3月31日現在)

商号 コムシード株式会社  
 所在地 〒101-0052  
 東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号  
 NBF小川町ビルディング5F  
 設立 平成3年12月13日(平成14年8月5日現商号に変更)  
 資本金 6億6,300万円  
 従業員数 40人  
 役員  
(平成21年6月24日現在)  
 代表取締役社長 坂入 万弘  
 専務取締役CTO 羽成 正己  
 取締役 金 正律  
 取締役 前島 荘生  
 取締役 趙 容峻  
 監査役 飯田 三郎  
 監査役 島根 伸治  
 監査役 南 敦  
 事業内容 ●コンピューターネットワークを利用した情報処理  
 サービスならびに情報提供サービス  
 ●コンピューターソフトウェアの開発・制作・  
 仕入・販売・輸出入  
 取引銀行 三井住友銀行、みずほ銀行、  
 りそな銀行、三菱東京UFJ銀行

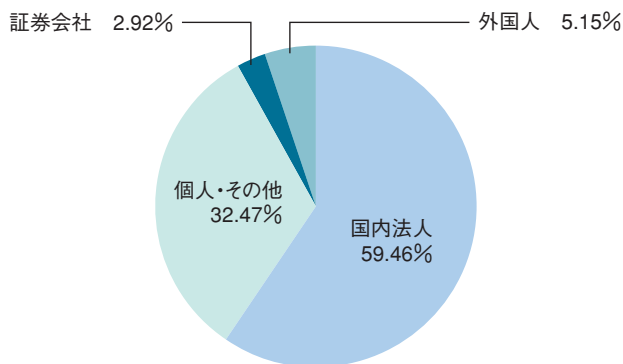
## □ 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 120,000株  
 発行済株式の総数 37,500株  
 株主数 955名

## □ 大株主

株主名	所有株式数(株)	出資比率(%)
株式会社サイカン	20,572	55.10
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	1,920	5.14
カブドットコム証券株式会社	1,009	2.70
株式会社プライムワン	969	2.60
栗巢眞和	827	2.22

## □ 株式の所有者別状況



(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日(なお、中間配当を実施する時の基準日は9月30日)
上場取引所	名古屋証券取引所セントレックス市場
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
	取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
会計監査人	霞が関監査法人

■住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますので、ご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

IR情報は当社のホームページでも  
ご覧いただけます。

ぜひ一度アクセスしてください。

<http://www.commseed.net/>



## コムシード株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号 NBF小川町ビルディング5F

TEL:03-5217-5811(代) FAX:03-5217-5812